

つたざわ



〈学校教育目標〉

こころ豊かで
主体的に学び、
ともに高め合う
葛沢っ子の育成

秋季大運動会を終えて

PTA体育部長

「仲間たちと一歩先へ常に挑戦 葛沢 EXPO」をスローガンに、第四回葛沢小学校運動会が開催されました。大阪万博にヒントを得たEXPOにならない、バラエティに富んだ内容で、従来の競技だけでなくダンスなども取り入れられ、さまざまな個性の子どもたちがそれぞれに輝ける場面が増えたのは、運動が不得手だった私としては時代のやさしさを感じます。また一先生方の発案による「葛沢綱引き合戦」では、宇田副部長の愉快なマイクパフォーマンスもあり、地域の方も含めて大いに盛り上がりしました。

子どもたちに、運動会の準備について尋ねると、練習内容だけでなく、「今日はこんなことをみんなで相談したよ」「こんなアイデアを考えたいよ」といった答えが返ってきました。スローガンをはじめ、応援合戦の曲や構成、ダンスの振り付けなどを子どもたち自身が話し合い、工夫を重ね、完成度を高めていく。そのように仲間と協働して作り上げていく過程は、子どもたちにとって必ずしも楽しいことではありませんが、完成したときの喜びはひとしおだと思えます。また、先生方におかれましても、子どもたちに主体性を持たせ、自由に組み立てることができること、忍耐や配慮を要する教育はないかと存じます。日々のご尽力に、心より感謝申し上げます。

D・グレイバーの著作に、『プレイはゲームを創造できるが、その逆はできない』と

いう一節があります。ルールの中で単にゲームをこなすのではなく、想像力を働かせ、自らの手でゲームそのものを創造し、プレイしていく。そのような思考を子どもたちが自らの内に根づかせることができれば、友だちの笑顔や汗、太陽や土埃の記憶とともに、これからの社会を力強く生き抜くための大きな礎となるのではないのでしょうか。

今後も、地域の皆様のおかげで子どもたちや仲間たちが互いに支え合いながら成長できることに心から感謝しつつ、葛沢 EXPOでみんなが輝く姿を楽しみにしております。

運動会を振り返って

体育担当



六年生の発声で運動会をスタートさせる「開会宣言」。休憩時に放送される保護者や親戚の方からの温かい「応援メッセージ」。葛沢小学校らしい、子どもたちが真ん中の、秋季大運動会が今年も盛大に開催できましたことに感謝申し上げます。たくさんの方の応援や拍手が、子どもたちの励みとなったことと思います。さて、この熱気と感動を、今年度の運動会を象徴する数字で振り返ってみようと思います。

まずは、3。今年度の運動会では、3つの「そろえる」を合言葉に練習に取り組みました。「服装をそろえる」「声をそろえる」「気持ちをそろえる」です。教職員が折に

触れてその大切さを伝えていくうちに、だんだんと子どもたちの心の中に「そろえる」意識が根付いていきました。高学年が下級生に声をかける姿も見られました。運動会だけでなく、これからの学校生活でも「そろえる」ことは大切です。引き続きこの意識を大切に持ち続けたいと思っています。

つぎに、11。これは、運動会特別練習を行った日数です。一日に二、三時間、運動会の練習を行いました。運動場や体育館に分かれて、様々な種類の練習がありました。九月と比べると過ごしやすいくらいであったとはいえ、動きっぱなしでたくさん走ること覚えられないハードな毎日だったことでしょう。子どもたちの頑張りを実を結び、運動会当日は大きな成長と伸びしろを見ることができました。

そして、66。これは、今年度の新競技である「葛沢綱引き合戦」へ参加いただいた地域の方の数です。保護者の方はもちろん、卒業生や祖父母に至る方までたくさんの方に盛り上げていただきました。高学年児童と地域の方の力が結集し、綱を引き合う姿に、児童はもちろん会場の皆さんも、大きな高揚感と一体感を得ることができました。これから葛沢小の目玉競技として、みんなで運動会を楽しみ、盛り上げ、子どもたちに力強い活力を与えていただけたらありがたいです。

さいごに、0。これは「輪」です。（数字じやないというツツコミが聞こえてきそうです。）学年をこえて励まし合う仲間の輪、友達を思いやる友情の輪、家族や地域の方に支えてもらう感謝の輪など、数え切れないたくさんの方の輪が重なり合って、今年度の運動会を終えることができました。運動会が生まれたこの輪が、これからの学校生活、そして未来へ向かって、ミヤクミヤクと広がっていくことを願っています。

参加、ご協力いただいたすべての皆様、本当にありがとうございました。

葛沢小学校の餅米

今年、たくさんの方の餅米がとれました。今、小学校の児童玄関に米袋が積み上げられています。児童は、自分たちが苗を植えて、みんなで刈った稲が、米となり目の前に積み上げられていることがうれしくて、足を止めて袋を触ったり、袋の中をのぞいたりしています。宇野営農組合と葛沢地区老人クラブの皆様、他にもたくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。恵みに感謝しておいしくいただきます。



11月の行事予定

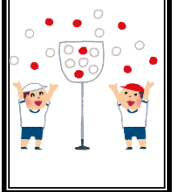
- 14日（金）放課後チャレンジ塾
PTAバレー練習（旧都多小）
- 15日（土）元気をもらおう講座（映画会）
- 18日（火）移動図書「ささゆり号」来校
- 19日（水）お楽しみ読書
- 21日（金）放課後チャレンジ塾
PTAバレー練習（旧都多小）
- 22日（土）PTAバレーボール大会
（会場：山崎東中学校）
- 23日（日）宍粟市ロードレース大会
- 29日（土）学習発表会



12月の行事予定

- 1日（月）振替休業日
- 5日（金）放課後チャレンジ塾
- 8日（月）集金日
ALT来校
- 9日（火）委員会活動
- 12日（金）放課後チャレンジ塾
- 14日（日）PTCAフォーラム
- 19日（金）給食最終日
放課後チャレンジ塾
- 24日（水）終業式
- 25日（木）冬季休業日（～1月7日）

運動会作文



たのしかったうんどうかい

一ねん

はじめてのうんどうかいでした。小学校のうんどうかい、すこしむずかしかったり、かちまけがあったりしました。でも、いろんな人におうえんしてもらえたり、たくさんほめてもらえたのですごくうれしかったです。

一ばんたのしかったのはダンスとリレーです。ダンスでは、おきやくさんのめのまえておどったので、すこしはすかしかったけど、手びょうしをしてくれたり、カメラでとったりしてくれたのでうれしかったです。がんばってれんしゅうしてよかったです。

リレーでは、バトンパスがむずかしかったです。ほんばんでは、リードもうまくできて、まえの人をぬかせたのでうれしかったです。

つぎのうんどうかいもたのしみです。

うれしいな

二年

土曜日、まちにまった運動会がありました。お父さんお母さんおばあちゃんが見に来てくれました。

運動会がはじまった時こくは八時四十五分です。その時間までは、入じょうもんですわってました。心がぞくぞくしました。六年生が朝れい台の上でピストルを二回ならしてから始まりました。校長先生と、六年生がお話をしました。その後、ラジオ体操をしてたいじょうしました。少しきんちようしていたから、ラジオ体操の時に思うように体がうごきませんでした。

つぎのおうえんパフォーマンズでは、私は赤なので後からしました。お父さんが、カメラをかまえていたからちようぴりはすかしかったです。でも楽しい気もちの方がちよつとだけつよかったです。

大玉ころがしでは、二人できよう力します。一回せんは直線で、二回せんは、ギザギザの道です。わたしは、もうスピードで走りながら、どすこいどすこいとおして、まがるときは、キューン！といきました。そのさくせんはせいこうしました。

せいせきはつぷようでは、赤がまけてくやしかったです。でも、リハーサルの時にしっぱいしたこともしこいこうして、一歩先へ行くことができたし、ちようせんもできました。

がんばった運動会

三年

十月二十五日に運動会がありました。

わたしが一番がんばったのは、大玉ころがしです。なぜがんばったかというと、練習でもリハーサルでもずっと負けていました。それで木曜日に、一年生に大玉をフラフープに入れるコツところがしかたを教えて、いっしょに練習をしました。

運動会本番では、わたしは、「負けてしまうかな？」と思っていました。だけど、練習の時とはちがうくらいみんなが大玉をフラフープに入れるのがうまくなっていました。二回れんぞくかつことができました。とてもうれしかったです。わたしはまた大玉ころがしをしたいです。

お父さんとお母さんに、「今まで、大玉ころがしがつてたん？」

と言われました。わたしが、「練習でもリハーサルでも負けとったで。」

と言ったらお父さんに、「すこいやん。」

と言われました。うれしかったです。

わたしは、運動会で勝ったことはないけど、お母さんが、「勝つのじゃなくて、がんばっている人の方が勝ちだよ。」

と言ってくれました。また次の運動会もがんばりたいです。

きんちようした運動会

四年

わたしが、運動会できんちようしたこと二つを話します。

一つ目は、リレーです。一番目に走ったので、きんちようしました。走り出したときには、もうきんちようがとけていました。自分のチームは、結果的には負けてしまったけど、がんばれたのでよかったです。



たです。

二つ目は、ダンスの最後です。写真さつえいのときにママに見られたり知らない人に見られたりするからきんちようしました。ほかに、「ふりつけましがえてないかな」「大丈夫かな」などの心配もありましたが、楽しくおどれました。

また来年もがんばります。次は負けないぞ！

楽しかった運動会

五年



初めは、はずかしかったし、ドキドキしました。玉入れは、同点になったけれど、大玉転がしは赤が勝って、それ以外の競技は、白に負けました。

ダンスは、全校生でがんばることができました。低学年も、この日に向けて必死に練習をして本番にその成果を見せていました。低学年の子たちの顔は輝いていて、心のどこか一部はみんなとつながっていた気がします。これこそ、「そろえる」だと思えました。みんな一生けん命おどっていたし、はるかしたさをふき飛ばしておうちの人に輝いた顔を見せていたし、ちようぴりかわいところも見せることができていました。運動会の最初にも、「そろえる」に当てはまることがありました。それは、声。みんな、やる気いっぱいの声で「はい！」と言っていました。今までの運動会の中でも、今年の運動会は特別良いスタートを切ったと思いました。

高学年のダンスも負けていなくて、低学年のダンスよりも振り付けは難しいものだったけれど、それを覚えるのに必死に努力しました。本番は、やっぱドキドキしました。だって、成功するか分からないから。でも、来年は六年生でみんなを引っ張っていかないとけないから、もたもたしていられません。ドキドキした心をおさえて、ダンスに集中しました。

今回の運動会は、負けたけれど楽しかったし、大切なことに気づくことができました。それは、みんながもっている「輝く笑顔」。笑顔を見て会場のみんなが応援してくれる。勝ち負けではなくて、一番大切なのは、そんなみんなの輝く笑顔であること。だから上手くいくし、楽しめるんだと思います。負けたくやしきはあったけれど、笑顔がたくさんあったので、とてもいい運動会だったと思います。

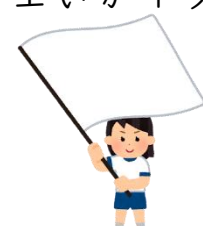
最後に最高の運動会

六年

運動会でする応援合戦は、はじめ何の曲にするかを決めたり、振り付けを考えたり、どんな掛け声にするかを考えたりと、たくさん時間を使いました。そして考えた振り付けやエールを、低学年と高学年に分けて教えました。いろんな先生にアドバイスしてもらってどんどん良くなっていきました。低学年がエールとかで大きな声を出してくれたり、がんばって振り付けを覚えてくれたりしたのでよかったです。高学年は一年生に立ち位置とかを教えてくださいました。

私は声が小さく、先生に何回も声が聞こえないと言われて悔しくてめちやくちやががんばって大きな声を出しました。そしたら本番では、その先生にほめられてすごくうれしかったです。

高学年のダンスは「静と動」で、止まったり動いたりするダンスでした。はじめは、全然タイミングが合わなかったり、何人か違う動きをしていたりして、たくさん苦戦しました。土曜日や日曜日などの休みの日があつたら、動きとかを忘れてしまっていました。



でもどんどん動きとかを覚えて合わせられるようになりました。移動をするところはちよつと忘れたけれど、なんとかできました。覚えたら踊るのが楽しかったです。はじめは間違えたらどうしようとか、笑ったりしないか心配になったけど、そんなことは忘れて全力で楽しくダンスを踊れました。旗を使つてのダンスは初めてだったけれど、真剣な顔や楽しいということが伝わるような笑顔で小学校生活最後のダンスを踊りきれたかなと思います。

私は運動会という行事がとても好きだったけど今年で最後でした。六年生という立場になり、いろんなことを決めたり、考えたりしました。来年からは中学生。体育祭や文化祭になって運動会じやなくなるけど、運動会みたいのがんばろうかなと思います。小学校生活最後の運動会、『仲間たちと一歩先へ 常に挑戦 蔦沢EXPO』このスローガンのように、これからも常に挑戦しようと思います。本当に今年の運動会は楽しかったです。またこんな楽しい運動会をやりたいです。